

(仮称) 新みやぎ森林・林業の将来ビジョン目標指標(案)

現行「みやぎ森林・林業の将来ビジョン」H20~29年度(2008~2017)

基本方向	取組番号	取組内容	指標番号	目標指標	現況(策定時)	目標	廃止	廃止理由
						H29(2017)年度		
I 活力ある林業県宮城の実現	1	林業木材産業の構造改革	1	林業(木材)産出額<木材生産量>	H17(2005) 47億円<502千㎡>	77億円<800千㎡>		
			2	県内木材需要に占める県産材シェア	H18(2006) 47億円 33%	51%	●	外材等の影響により、算出に用いる母数となる需要量が流動的
			3	「優良みやぎ材」(品質基準適合製品)の出荷量	H18(2006) 13,300㎡	31,000㎡	●	県全体の木材・木製品出荷額に見直し
			4	木材・木製品出荷額	H17(2005) 685億円	837億円		
			5	間伐生産コスト	H18(2006) 8,600円/㎡	6,900円/㎡	●	生産コストを算出する事業が廃止
	2	資源の循環利用を持続できる森林の整備	6	間伐実施面積	H18(2006) 4,645ha	5,600 ha		
			7	路網密度	H17(2005) 27.6m/ha	29.0 m/ha	○	補助指標に見直し
			8	木材生産適地における再造林実施率	H17(2005) 34%	100%	○	補助指標に見直し
	3	特用林産物の振興	9	林業(特用林産物)産出額<きこ生産量>	H17(2005) 36億円<6,722t>	53億円<8,890t>		
	4	森林を活かした多様な産業の振興	10	新規事業化支援(普及指導実績)件数	H18(2006) 4件	8件	●	試験研究成果の普及における活用件数(補助指標)に見直し
	5	森林・林業・木材産業を支える人材・事業者の育成	11	認定林業事業主数	H18(2006) 33事業体	37事業体	○	補助指標に見直し
			12	宮城県基幹林業技能作業士数(累計)	H18(2006) 224人	333人	●	該当する研修制度が廃止
			13	宮城県高性能林業機械オペレーター数(累計)	H18(2006) 118人	184人	●	該当する研修制度が廃止
			14	新規林業就業者数	H18(2006) 37人	90人		
	6	林業・木材産業関連技術の開発・改良の促進	15	宮城県林業技術総合センター研究成果指導件数	H18(2006) 92件	120件	●	試験研究成果の普及における活用件数(補助指標)に見直し
II 美しい森林づくりによる安全・安心な県土の実現	7	県産材利用の普及PRの推進	-	県内木材需要に占める県産材シェア(再掲)	H18(2006) 47億円 33%	51%	●	指標番号2と同じ
			-	「優良みやぎ材」(品質基準適合製品)の出荷量(再掲)	H18(2006) 13,300㎡	31,000㎡	●	指標番号3と同じ
	8	木質系バイオマス利用の促進	16	木質バイオマス(間伐材)の利用率	H17(2005) 39%	60%	●	合板工場等の受け入れ調整により変動するため見直し
	9	多様性に富む健全な森林の整備	17	未間伐森林の面積	H18(2006) 16,400 ha	3,400 ha	●	間伐による二酸化炭素吸収量(補助指標)に見直し
			18	県民や企業等の森林づくり面積	H18(2006) 22 ha	80 ha	○	補助指標に見直し
	10	松くい虫対策等森林の保護	19	宮城県森林インストラクター認定者数	H18(2006) 301人	640人		
			20	松くい虫被害による枯損木量	H18(2006) 19,456 ㎡	15,000 ㎡		
	11	保安林の適正な管理と整備	21	保安林の指定面積	H18(2006) 66,982 ㎡	68,000 ㎡		
22			森林保全推進活動ボランティア数	H19(2007) 97人	150人	●	県民や企業の森林づくり面積、協定件数(補助指標)に見直し	
12	治山対策の推進	23	山地災害危険地区における治山事業着手数	H19(2007) 196箇所	296箇所	●	山地災害危険地区(Aランク)の着手率に見直し	

見直し

新「みやぎ森林・林業の将来ビジョン」H30~39年度(2018~2027)

政策番号	指標番号	目標指標	現況(平成28年度)	目標	新規
				H39(2027)年度	
I 林業・木材産業の一層の産力強化	1	素材生産量<年間>	H28(2016) 586千㎡	700千㎡	●
	2	林業(木材)産出額<年間>	H28(2016) 44億円	56億円	
	3	木材・木製品出荷額<年間>	H26(2014) 770億円	980億円	
	4	木質バイオマス活用施設導入数<累計>	H28(2016) 41基	60基	●
	5	C.L.Tを用いた建築物の建設棟数<累計>	H28(2016) 2棟	54棟	●
	6	森林経営計画の策定率<累計>	H28(2016) 29%	50%	●
II 森林の持つ多面的発揮機能	7	間伐実施面積<年間>	H27(2015) 2,714 ha	5,600 ha	
	8	植栽面積<年間>	H27(2015) 216 ha	400 ha	●
	9	松くい虫被害による枯損木量<年間>	H28(2016) 13,700㎡	10,000㎡	
	10	保安林の指定面積<累計>	H28(2016) 67,203 ha	70,872 ha	
	11	山地災害危険地区(Aランク)の着手率<累計>	H28(2016) 56%	65%	
III 森林・林業・木材産業を支える地域や人材の育成	12	新規林業就業者数<年間>	H27(2015) 67人	100人	
	13	森林施業プランナー雇用林業事業者数<累計>	H27(2015) 7事業者	23事業者	●
	14	林業(特用林産物)産出額<年間>	H28(2016) 39億円	46億円	
	15	宮城県森林インストラクター認定者数<累計>	H27(2015) 550人	900人	
	IV 東日本大震災と災から	16	海岸防災林(民有林)造成面積<累計>	H28(2016) 228 ha	750 ha
17		原木きこ出荷制限(自棄)解除生産者数<累計>	H28(2016) 31人	66人	●
18		特用林産生産施設のGAP認証取得数<累計>	H28(2016) 2件	15件	●

目標指標を補完

指標番号	補助指標の例
1	路網密度
2	人工乾燥材生産量
3	CNF生産量
4	間伐による二酸化炭素吸収量
5	木材生産適地における再造林実施率
6	多様な主体による森林づくり面積
7	広葉樹林への誘導面積
8	中核森林組合数
9	森林施業プランナー数
10	試験研究成果の普及における活用件数
11	県民や企業等の森林づくり協定件数
12	FSC・FM認証林面積

※補助指標は、例示したものの以外でも、追加・拡充を検討していく。

<目標値の見直しポイント>

- ✓ 現行ビジョンでは取組毎に目標指標を設定していたが、新ビジョンでは政策毎に指標を設定
- ✓ 目標指標は現行ビジョンの23指標から18指標に見直し(5指標の減)
- ✓ 達成状況の評価に当たっては、18の目標指標以外でも関連する様々な数値(補助指標)を用いながら、県民にも分かりやすい内容になるよう配慮